

平成25年度肥後っ子いきいき読書環境づくり事業第2回

見つける喜び、届ける喜び



主催 熊本県立図書館

期日 平成26年1月6日(月)

会場 熊本県立図書館3階大研修室

参加者 55名(参加申込58名)

<午前>

講演 「子どもと本を結ぶ“しかけ”」

講師 竹下 心氏

(子どもの絵本大賞 in 九州事務局)



<午後>

実践報告①「子ども文庫の活用と司書教諭、学校司書の連携」

福田 友子 氏(玉名市立玉名町小学校司書教諭)

実践報告②「配本図書を活用と読書活動の取組」

渡邊 美沙 氏(熊本県立熊本支援学校講師)

参加者の感想より（一部を抜粋）

- 図書館の講座に書店の方が来られるのは珍しいので、大変面白く聞かせていただきました。悩みは共通していて、協力して取り組めば、子どもにとっていい本の世界が提供できそうですね。
- 本の発売に関わられる方の感じる、現実的な子どもの読書傾向について知ることができました。また、学校の外での子どもの読書状況について知る良い機会となりました。
- 棚づくりの工夫や、子どもとおはなしをして興味あるジャンルでおすすめる本を探していく様子など、様々な工夫がきけてよかった。
- “学校にいる大人”とは違う視点で、子どもの本選びにどう関わっておられるかを話していただき、大変参考になりました。
- 同じように本に関わるのだが、図書館と書店員という立場や触れる物事によって知ること、感じることはこんなにも違うのだと思い、とてもおもしろく聞くことができました。
- とても分かり易く参考になりました。書店さんの話はリアルで、又、商売をされておられるので、仕事の厳しさや意気ごみを感じました。
- 竹下さんの書店員ならではのいろいろなお話がきけて面白かったです。発行されている新聞を以前福岡の書店で見てから、どんな人たちが手づくりされてるんだろうと気になっていたもので、とても良い講演でした。
- 新年早々にこんなに役立つ研修が受けられたこと嬉しく思います。竹下さんのような書店員さんがいらっしゃる、情熱をもって子供の本を考えていらっしゃる方がいて、大変励みになります。子供って本は大好きです。大人が「これは面白いかも」と手渡すと読んでくれます。押しつけせずさりげなくですが。